

日本産蘭科植物分布図 (六十六)

正宗巖敬・里見信生

MASAMUNE, G. & N. SATOMI : Distribution Maps of
Orchidaceae in Japan (66)

エゾスズラン, アオスズラン *Epipactis papillosa* FR.
et SAV. — *E. latifolia* ALL. var. *papillosa* (FR. et
SAV.) MAXIM. ex KOMAR.

一般にエゾスズランの和名がしめすように、本州中部
以北に分布し、わが国以外では、南千島・カムチャッカ・
樺太・ウスリー・満州などに分布する。本州西南部・四
国・九州では稀で、この分布図でみられるように、吾々
の知るところでは、鹿児島県霧島山が南限産地である。

次にハマカキラン var. *sayekiana* (MAKINO) T.
KOYAMA et ASAI — *E. sayekiana* MAKINO は岩
手県から神奈川県までの海岸松林の林床に生育し、母種
とくらべると全体が大きい。しかし、根茎は短縮し、数
本の茎がやや集って生ずる傾向がある。また葉形は卵形
~卵状楕円形と丸い。その極端なものが円形の葉をもつ、
マルバハマカキラン form. *rotundifolia* ASAI である。



- エゾスズラン *E. papillosa*
○ ハマカキラン *E. p. var. sayekiana*